

絶対零度は『-273度』

そんな絶対零度はマイナス273度。この温度以下では物質は存在できないと言われている（最新の研究でそれを下回る負の温度を発見したというニュースがあったよ）。

この、絶対零度を基準にした温度の表し方を『**ケルビン温度**』という。

$$\text{-273度} = 0\text{ケルビン}$$

俺たちが普通に使っている温度はセルシウス温度（摂氏）という。摂氏0度はケルビンだと273K。摂氏27度は300Kになる。

つまり、**普通の温度に273を足してあげればいいんだ！**

練習してみよう。

①**水が沸騰する100度** ②**北海道のマイナス5度** ③**体温37度**

できたかな？Σ(￣w￣;)正解はこうなる。

①**100度 + 273 = 373K**

②**-5度 + 273 = 268K**

③**37度 + 273 = 310K**

次に、物質がどれだけ熱を持っているか計算してみよう！

例えば

20度の水100gと80度の水200gを混ぜたら何度になる？

うーん、、、熱いのとぬるいの混ぜたらその真ん中くらいの所で落ち着くんじゃないの？って思うだろ。その通り、2つの物質を混ぜたら温度が均一になることを**熱平衡**と言う。2つが持つ熱量は混ぜてもその合計数は変わらないんだ（**熱量保存の法則**）

じゃあ何度になるの？大丈夫。熱平衡を計算してみよう。